

## 令和 6 年 第 1 回定例会一般質問

順序	氏 名	質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
1	佐 藤 智 子	<p>1. 災害に備えるために</p> <p>2. 補聴器助成施策、推進を</p>	<p>(1) 福祉避難所の指定 八雲町はホームページに「災害時の避難場所一覧」を載せているが「福祉避難所」という言葉で検索しても該当するものが出てこない。「福祉避難所」の必要性をどのように考えているか。</p> <p>(2) 防災ラジオの活用 近隣自治体で、災害時に自動的に災害情報が流れている防災ラジオの無償貸与が実施されている。ラジオであれば防災無線戸別受信機のように工事する必要もないし、経費もかからない。当町も高齢者等を対象に防災ラジオを貸与してはどうか。</p> <p>(3) 地域会館に発電機を 元日の能登半島地震では道路が寸断され、停電も続いた。そうした事態に対応するため、各地域会館に発電機を備えるべきではないか。</p> <p>昨年(2024)の第1回定例会でも、補聴器助成について質問した。その際、町長は「どんなことがいいのか研究したい」との答弁であった。 その後、8月の末には「補聴器購入助成を求める実行委員会」から「難聴者の補聴器購入に係わる負担軽減を求める要望書」が署名 821 筆と共に町長に提出された。 町長は、それを真摯に受け止め、文教厚生常任委員会に対し、補聴器助成についての報告があった。しかし、補助の助成回数は1度だけで、64歳以下は対象外となっていたため、対象者の拡大等について質疑が出されていた。 補聴器の装着により、社会的なつながりが継続し、孤立を防ぎ、生きる力が維持できることがわかっている。 文教厚生常任委員会の質疑等を踏まえ、その後の検討の状況を伺う。</p>	町 長

順序	氏名	質問事項	質問要旨	答弁者
2	横田喜世志	1. 会計年度任用職員の給与等について	<p>令和5年8月7日、人事院は俸給表改定と一時金引き上げを勧告した。若年層だけではなく、再任用職員も含むすべての職員におよぶ俸給引き上げ、期末・勤勉手当も引き上げる勧告となった。</p> <p>八雲町は令和5年12月議会で一般職員の給与に関する条例の一部改正を可決しているが、会計年度任用職員も同様の扱いとなっているのか伺う。</p>	町長

順序	氏名	質問事項	質問要旨	答弁者
3	齋藤 實	1. 戸建て木造住宅の耐震化について	<p>(1) 能登半島地震では、建物被害が4万6千棟を超え、木造住宅の倒壊などで多くの人が亡くなっております。住宅の早急な耐震化が求められておりますが、以前は八雲町でも改修補助制度があったと思いますが、現在は北海道の戸建て木造住宅の無料耐震診断の案内を町広報に載せておりますが、利用されていない現状をどのように分析されているか。</p> <p>(2) 北海道の耐震補助制度は、どのようになっているのか。 また、耐震化促進のため2018年度に新設されたパッケージ支援は、どのような制度なのか。</p> <p>(3) 耐震改修工事が利用されないのは、所有者の負担が大きいことと、補助制度が利用しづらいところがあるからであり、町として利用しやすい補助制度を構築すべきであると思うが、考えを伺います。</p>	町長
		2. 八雲町未来投資基金を創設し魅力あるまちづくりを	<p>子育て政策をはじめ、医療や福祉、産業教育等多くの諸政策を実施してきました。さらには、ふるさと納税資金を活用し充実されてきました。</p> <p>また、町長は、企業誘致や産業政策にも力を入れてきましたが、町全体が活力あるまちづくりにはなっていないと感じております。それは、町民が積極的にまちづくりに参加がないからではないか。私は、町民参加には具体的な政策が必要と考えております。</p> <p>町民と関係人口（協力隊）の活用は、町を変えていくことになってくると思います。地域外との交流を一層高める関係人口と協力し、新しい仕組みづくりを作ることが大事であります。</p> <p>ふるさと納税資金を活用し、八雲町未来投資基金を創設し、魅力的で持続可能なまちづくりを目指しませんか。</p> <p>投資基金の運営を民間人による委員会等や法人会社などに任せ、町民が計画等を委員会等と協議をし、計画を進めることとあります。</p> <p>以前は町においても同じ政策を実施してきましたが、失敗に終わっておりますが、なぜ失敗したのかの分析をすることで、新しい取り組みができると思います。町長はどのように考えますか。</p>	町長

順序	氏名	質問事項	質問要旨	答弁者
4	赤井 睦美	1. みんなで防ごう 災害関連死！	<p>2024年は、能登半島の大地震という衝撃的な年明けとなり、今なお過酷な避難生活を強いられている方が大勢います。2016年4月の熊本地震では、273人の死者のうち223人が災害関連死で、地震そのものによる死者数50人の4.46倍に上ったことがわかっています。</p> <p>能登半島でも復旧作業がなかなか進まず、災害関連死の数も熊本地震のケースを超え、十何倍にまでなってしまうかもしれないと危機感を募らせる声もあります。</p> <p>ご存じのように、冬の災害関連死への対策として今は『TKB+W』 T=トイレ K=キッチン B=ベッド W=ウォーム（暖房）がキーワードとされています。</p> <p>その中で特に大きな問題が「T=トイレ」です。</p> <p>そこで提案ですが、能登半島でもすでに活躍している『トイレトレーラー』と、これから重要になる『キッチンカー』『ワンタッチ簡易ベッド』を八雲町としても導入してはいかがでしょうか？</p> <p>トイレトレーラーの導入には災害派遣トイレネットワーク参加に参加し、国の「緊急減災・防災事業費」を利用すれば7割の負担軽減ができ、さらに残りはふるさと納税型のクラウドファンディングを使うことで、自治体負担はほぼゼロ。お金を出してくれた団体や人の名前が車体後部に並ぶしくみもあるそうです。</p> <p>Kのキッチンですが、イタリアでは災害の次の日には温かい食事がとれる仕組みになっており、いま日本でもそれを参考に日本版キッチンカーが検討されているそうですので、アンテナを張りめぐらせて、いち早く取り組んでほしいと思います。</p> <p>また、能登半島では、床に雑魚寝が多く見られました。床から舞うほこりを吸い込みやすく、肺炎にもつながると言われています。また、床に直接寝ると、下から冷気が伝わるため、体調を崩す人が増えるそうです。</p> <p>北海道の地震では、厚真町の避難所に、地震後3日で段ボールベッドが設置されました。八雲町でも準備されている段ボールベッドは、床から舞うほこりを吸い込みにくいので衛生的な環境を保てるほか、床から伝わる冷たさを防いだり、いす代わりに腰掛けて使えたりする利点もあります。更に今は進化して、段ボールベッドは使いまわしが難しいですが、ワンタッチの簡易ベッドは消毒すると何度でも使え、ゴミにならないというものも出てきています。自分の町はもちろんですが、他自治体とも連携して災害が起きたまちの支援もできる八雲町を目指しませんか？ 町長のお考えをお伺いします。</p>	町長
		2. 八雲町が目指す 人材育成とは？	<p>八雲町は、2016年から産業人材確保・育成事業を計画して取り組み、その総括もあやふやなままに、2020年産業に携わる人材を自治体、商工業界が一丸となって育てていこ</p>	町長

うという目的で株式会社『木蓮』が設立されました。会社設立の話があったとき、「会社をつぶしても若い人はつぶさないで！」とお願いしましたが、それはかないませんでした。更に今、熊石地域の『すまいる』を購入し、そこを拠点に関係人口の拡大を図るべく、若者の力を投入しようとしています。八雲町における『人を育てる木』の根本はどこにあるのでしょうか？木蓮もすまいるの活用も、担う人たちはそれぞれに仕事を持っていて、副業のように取り組んでいます。もちろん失敗しても自分の仕事があるので生活の基盤は安定していると思いますが、果たしてそのようなやり方で、持続可能な取り組みを展開する事ができるのでしょうか。そのような方法で、他の若者が魅力を感じて集まってくるのでしょうか。どんな産業においても、そこで活躍する人が育たなければ、その職場は停滞してしまいます。そのための税金投入だと思うのですが、計画性が見えてきません。

そこで3点についてお伺いします。

- ① 2016年からの産業人材確保・育成事業の取り組みをどう総括しているのか。
- ② 人材育成の持続可能な取り組みをどのように展開していこうとしているのか。
- ③ 八雲町が目指す人材育成とは何か。

順序	氏 名	質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
5	三 澤 公 雄	1. 八雲町の災害への備えは十分だろうか？	<p>石川県能登半島地震の被害の大きさには、あらためて厳冬期における備えは十分なのか？という危機感を強く持った。ポイントを絞って確認したい。</p> <p>① 避難の誘導などの“支援をする側”の人員確保は？特に職員や家族も被災されている場合については、どのようになるのだろうか？</p> <p>② 「初動の遅れは災害関連死が増える」と確認されている。被害の全容把握の迅速化に何か工夫をしているか？</p> <p>③ 避難所の設営・運営ではスフィア基準など、何か目安にしているものはあるか？</p> <p>④ 備蓄に関しては、毛布でいいのか？寝袋の数は？札幌市はストーブの数を“倍”にしたそうだ。八雲では足りているのか？など“寒さ”への対応は大丈夫だろうか？</p> <p>⑤ 地震に関しては、旧耐震住宅の存在がクローズアップされているが、八雲町ではどの程度の住宅倒壊を想定しているだろうか？</p> <p>⑥ 新庁舎の避難場所としての“備え”は大丈夫か？</p>	町 長